

コード	402070904
記入日	H26.11.5

課コード	115
課名	農林課
課長名	下山 透
担当者	清水 隆久

新規事業評価表【事前評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	林業専用道上五島縦貫1号支線新設改良事業
----------	----------------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	402	施策名称	農林業の振興	項コード	2
基本事業コード	40207	基本事業名称	林業の環境整備	目コード	3
事務事業コード	4020709	事務事業名称	単独事業費（林道改良）	細目コード	1032
関連計画		法令・条例規則等	森林法、長崎県林道事業補助金交付要綱		

計画（PLAN）

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標
(対象1) 森林所有者 (対象2) 地区住民	(対象指標1) 98人 (対象指標2) 461人
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標
・林内路網の整備を促進することにより、森林の保全および林道事業による林業生産コストの削減を図る。また、山王山展望台の観光連絡道として活用することで観光の振興に繋げる。 →全体計画延長 L=2,900m 幅員 W=3.5m →改築区間 L=1,600m →新設区間 L=1,300m ※測量設計はH24、25において実施済	(活動指標名称) (活動指標数値) (指標積算根拠) (目標達成年度)
	① 新設改良延長 2,900m 新設改良延長÷計画新設改良延長 平成31年度
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標
・本線は、三王山の中腹から山頂付近に至る林業専用道である。三王山の山頂からは、西海国立公園のすばらしい自然財産が展望できる。しかしながら駐車場から展望台までの歩行距離が長いので、観光客をはじめ地元住民の登山も減少している。計画地周辺は、町、寺社、個人所有の人工林であり、手入れ不足により荒廃森林が認められ、今後荒廃の拡大や土砂、倒木の流出により下流に被害を与える恐れがある。そのため、林内路網の整備を促進することにより、森林整備の促進に資することで、地域における間伐等の森林資源を活用した林業・木材産業等の地域産業の再生を図る。	(成果指標名称) (成果指標数値) (指標積算根拠) (目標達成年度)
	① 進捗率 100% 実績事業費÷計画事業費 平成31年度

実施（DO）

	単位	全体計画	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度以降
		H 27 ~ H 31							
活動指標	① m	2,900		1,600	360	360	360	220	
	②								
成果指標	① %	100		22	22	22	22	12	
	②								
総事業費 C (A+B)	千円	186,300		40,700	40,700	40,700	40,700	23,500	
直接事業費 A	千円	182,800		40,000	40,000	40,000	40,000	22,800	
人件費 B	千円	3,500		700	700	700	700	700	
内訳	従事職員数 人	0.5		0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
	人件費単価 千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金 千円	91,400		20,000	20,000	20,000	20,000	11,400	
	県補助金 千円								
	起債 千円								
	その他 千円								
一般財源	千円	94,900		20,700	20,700	20,700	20,700	12,100	

評価 (CHECK)

評価項目	内 容
・事業の緊急性・必要性はありますか。	計画地周辺は、町、寺社、個人所有の人工林であり、手入れ不足により荒廃森林が認められ、今後荒廃の拡大や土砂、倒木の流出により下流に被害を与えるおそれがある。そのため、林内路網の整備を促進することにより、森林整備の促進に資することで、地域における間伐等の森林資源を活用した林業・木材産業等の地域産業の再生を図る必要がある。
・事業の対象・目的は適切ですか。	林内路網の整備を促進することにより、森林整備の促進に資することで、地域における間伐等の森林資源を活用した林業・木材産業等の地域産業の再生を図るものであり適切である。
・町が税金を投入して行う必要がありますか。	林道管理者である町が行うべきものである。
・事業を行わない場合の影響はありますか。	今後荒廃森林の拡大や土砂、倒木の流出により下流に被害を与えるおそれがある。
・事業費を削減できませんか。(費用対効果)	最小の経費で最大の効果をあげる設計であり削減できない。
・受益者負担は適正ですか。	受益者負担はない。
・類似事業との整理統合はできませんか。	類似事業はない。

2次評価	林業の衰退・森林の荒廃が進んでいる中、林業・森林整備及び観光の振興を図るための事業として地元からの要望も強いものがあり必要と判断するが、事業実施は国補助金の採択を条件とする。
-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

事業の方向性	<table border="1"> <thead> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	1次	2次	3次	●	●														<table border="1"> <thead> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	1次	2次	3次															
	1次	2次	3次																																			
	●	●																																				
1次	2次	3次																																				
	計画どおりに事業を実施する	次年度以降に計画どおり実施する																																				
	事業内容を見直して事業を実施する	次年度以降に計画を見直して実施する																																				
	実施期間を見直して事業を実施する	次年度以降に類似事業と整理統合して実施する																																				
	事業費を減額して事業を実施する	当分の間は実施しない																																				
	類似事業と整理統合して実施する																																					

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。